

東北地方 1 か月予報

(6月8日から7月7日までの天候見通し)

平成25年6月7日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間のはじめは、気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

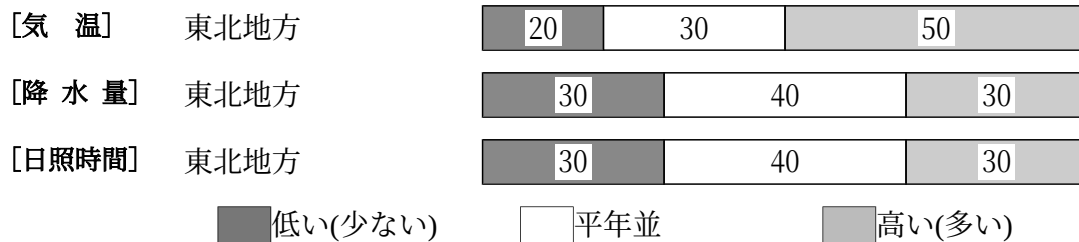
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

はじめは、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。その後は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

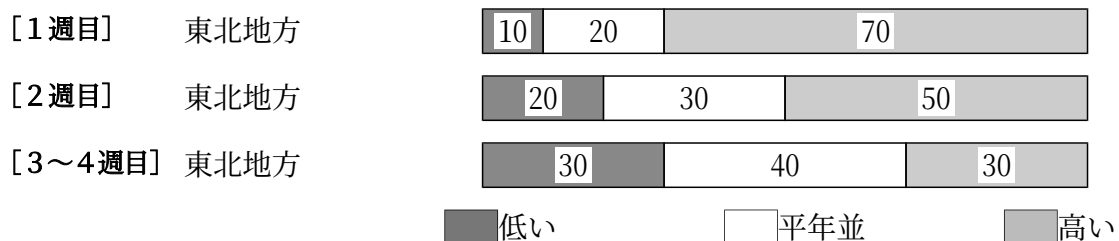
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月 8日(土)～ 7月 7日(日)
1週目 : 6月 8日(土)～ 6月14日(金)
2週目 : 6月15日(土)～ 6月21日(金)
3～4週目 : 6月22日(土)～ 7月 5日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は6月14日
3か月予報：6月25日(火) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	18.0	86.0	169.6	16.6	17.5	18.8
深浦	18.2	107.6	170.9	16.8	17.6	18.9
むつ	16.4	115.7	150.1	15.1	15.9	17.1
八戸	17.0	124.7	156.5	15.8	16.5	17.7
秋田	20.0	149.5	162.4	18.7	19.5	20.6
盛岡	19.1	138.0	140.3	17.9	18.7	19.6
大船渡	18.1	194.5	135.2	16.9	17.7	18.8
宮古	16.8	134.4	137.3	15.7	16.3	17.4
仙台	19.2	167.1	118.4	18.0	18.7	19.8
石巻	18.5	133.4	135.2	17.3	18.0	19.1
山形	20.5	129.3	140.3	19.5	20.1	21.1
新庄	19.6	154.8	137.5	18.5	19.2	20.2
酒田	20.4	154.7	160.8	19.2	19.9	21.0
福島	20.8	145.5	120.5	19.8	20.3	21.3
若松	20.8	138.1	144.5	19.8	20.4	21.3
白河	19.3	179.6	113.1	18.2	18.9	19.9
小名浜	19.2	164.1	128.6	17.9	18.6	19.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981～2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.5	86～114	93～105
東北日本海側	-0.4～+0.5	84～109	93～105
東北太平洋側	-0.6～+0.6	87～111	91～107

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.7～+0.7	-0.5～+0.7
東北日本海側	-0.6～+0.6	-0.7～+0.8	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.7～+0.7	-0.7～+0.8	-0.6～+0.9

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成25年6月7日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（6月8日～7月7日）：

期間のはじめは、高気圧に覆われるため平年に比べ晴れの日が多いでしょう。その後は、梅雨前線が本州付近に停滞するため平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。期間のはじめは気温がかなり高くなる可能性があります。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50％です。

1週目（6月8日～6月14日）：

明日（8日）は曇りで雨の降る所があるでしょう。その後は高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、期間の終わりは気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がる見込みです。

気温は、高い確率70％です。

2週目（6月15日～6月21日）：

本州付近に梅雨前線が停滞するため、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、高い確率50％です。

3～4週目（6月22日～7月5日）：

本州付近に梅雨前線が停滞するため、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

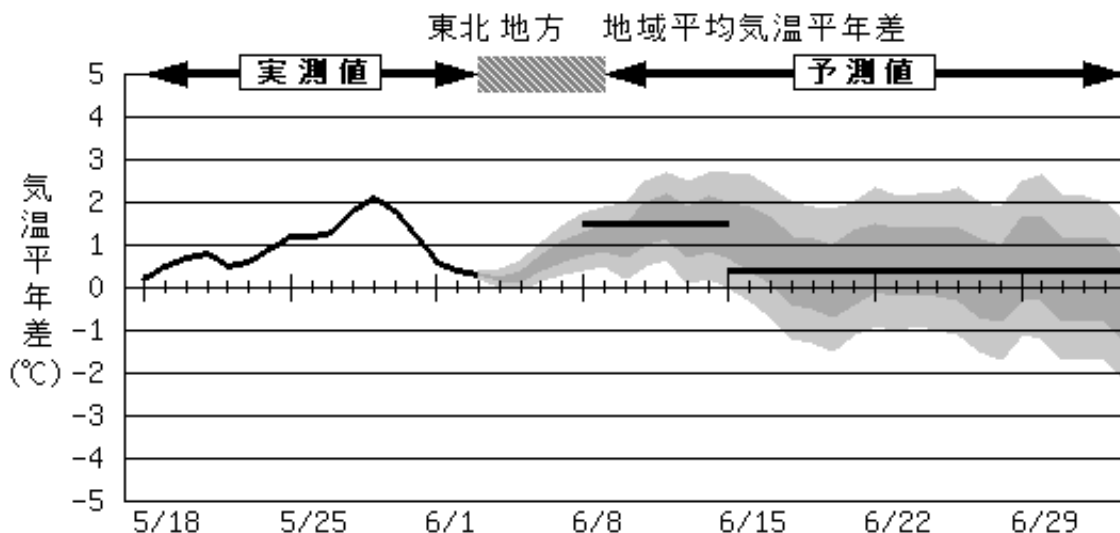
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
13.1	7.8	12.7	10.0	11.1	9.6	9.2	11.2	10.8	10.1	9.2	10.8

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。2週目はその他の資料から平年より高いと考える。



- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均:

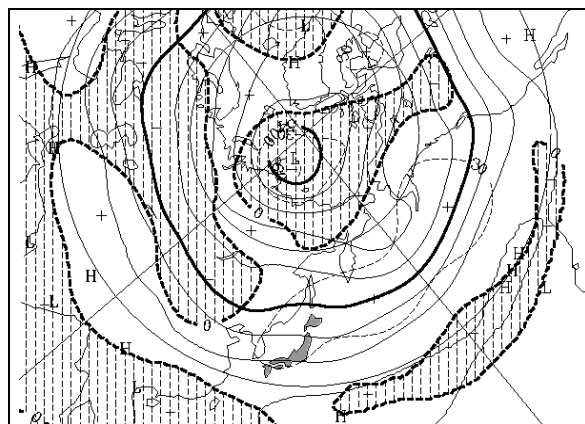
日本付近は正偏差に覆われ、気温は高い見込み。特に期間のはじめは日本付近で太平洋高気圧の北への張り出しが強まり気温がかなり高くなる所がある。その後、梅雨前線は本州付近に停滞するようになり、曇りや雨の日が多くなる見込み。

1週目:

日本付近は正偏差で、気圧の尾根が明瞭となる。太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多く、気温は高い見込み。

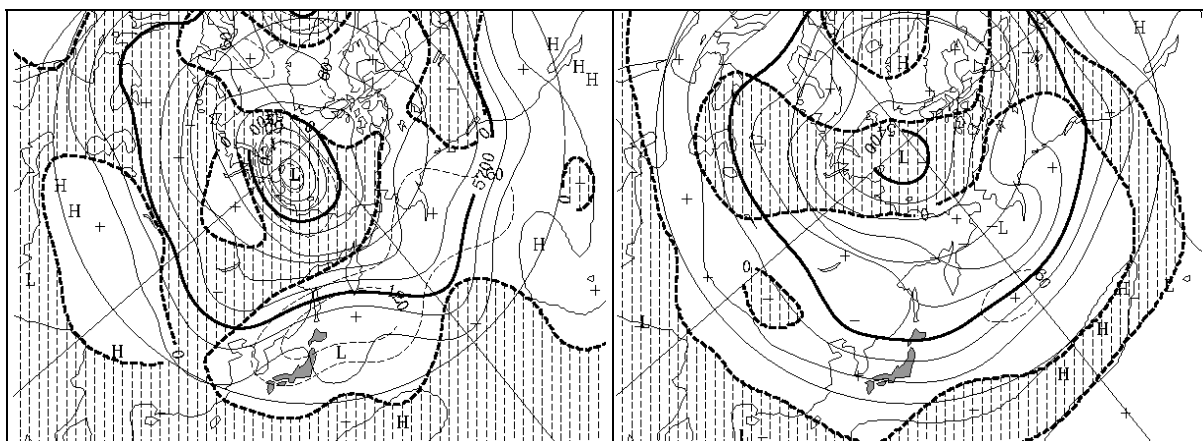
2週目:

日本付近は東西に広く正偏差に覆われる。1週目と比べて偏差は小さいが、気温は高い見込み。太平洋高気圧が日本の南で張り出すため、梅雨前線は北上して本州付近に停滞するようになり、平年と同様に曇りや雨の日が多くなる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図

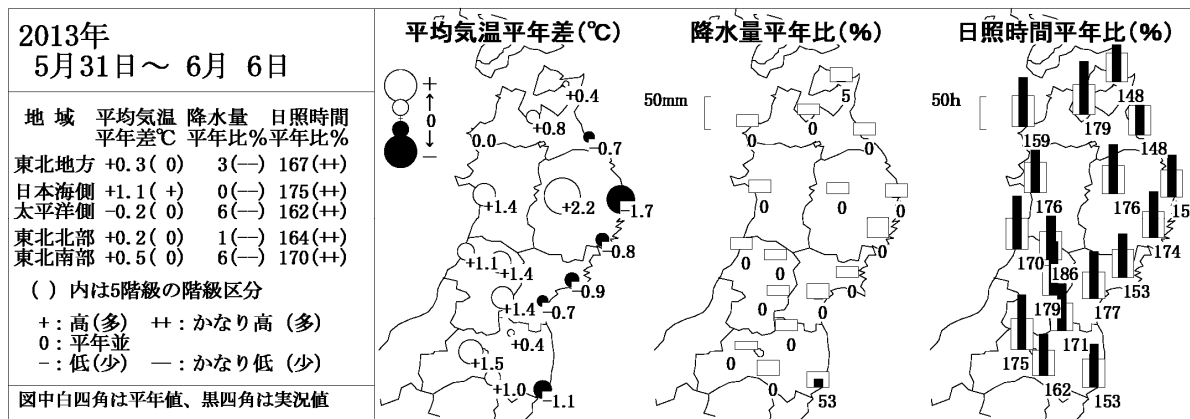
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（5月31日～6月6日）の天候の経過

この期間、高気圧に覆われ晴れの日が続いた。

平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。降水量はかなり少ない。日照時間はかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)